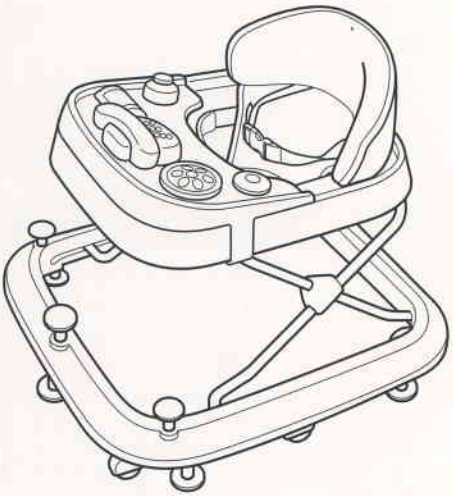
Combi

コンビ

よちよちキーパー YT-120

取扱説明書

品質保証書付



●もくじ

安全にお使いいただくために	1
各部品・付属金具類のなまえとはたらき	2
組み立てかた	3
各部の操作	4
お手入れのしかた	6

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよくお読みの上取り付けてください。

■本品を他のかたにお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全にお使いいただくために

●本製品は組み立て式になっております。「各部品・付属金具類のなまえとはたらき」で数量をご確認の上、「組み立てかた」に沿って組み立ててください。

●下記に示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまに危害や物的損害の発生が予想されます。危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分して表示しましたので、ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	この警告を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この警告を無視し誤った取り扱いをすると、人がケガをする可能性や物的損害がおこる内容を示しています。

⚠警告

●次のような場所は危険です。使用しないでください。

転落の危険がある場所
…階段の降り口、ベランダの出入口、玄関などの段差、縁側、テーブルの上など高い場所

戸外、道路上

ストーブ、アイロンなどヤケドの危険のあるものの近く

転倒の危険がある場所
…床に段差のある場所、座布団など障害物のある場所

割れやすいもの、落下のおそれのあるものの近く

●使用中はお子さまを1人にせず、必ず保護者が付き添ってください。

●2人以上のお子さまを同時に乗せないでください。

●お子さまを乗せたままで各部の操作や調整は絶対に行わないでください。

●使用時は、必ずセーフティベルトをしてください。また、使用しないときは、セーフティベルトのバックルを必ずはずしておいてください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

●製品の組み立てや取り扱い操作は、必ず保護者が行ってください。

●シートに立ち上がったり、テーブルやガード、トイトレーの上に乗らないでください。

●破損や故障した場合には、絶対に使用しないでください。

⚠注意

●使用月齢を守ってください。
- 使用対象月齢は、7ヵ月～15ヵ月までです。
- 使用対象月齢であっても、つかまり立ちができるようになってからご使用ください。
  また、1人歩きできるようになりましたら、使用しないでください。

●お子さまを乗せたままで持ち運ぶのはおやめください。
●収納状態まで折りたたむときは、手などをはさまないようにご注意ください。

※長時間のご使用は、おやめください。使用時間を守ってください。
・1回の使用時間は、20分くらいが適当です。
・1日の使用時間の合計は、1～2時間以内にしてください。
・お子さまがいやがるときは、すぐに降ろしてください。

各部品・付属金具類のなまえとはたらき

●梱包内容

※組み立てる前に下図の部品がすべてあるかどうかご確認ください。

①本体

②背もたれ

③シート

④トイトレー

⑤セーフティベルト

⑥取扱説明書（本書）

付属金具類

⑥蝶ナット 4個
（シート固定用）

⑦シャフト&クリップ
（シート固定用）

⑧単3電池2本（トイ用）

●各部のなまえ

ガード
成長に合わせて6段階の高さ調節が可能

トイトレー
動物の声などが聞ける電子トイ付き

テーブル
トイトレーを取りはずせばテーブルとして使用可能

エリアロック機能用ストッパー
移動可能な範囲を360度の回転範囲のみに制限できる便利機能

収納ポジションロック
高さ調節の際、誤って収納状態に折りたたまれないための機能

背もたれ

シート
簡単に取りはずせて丸洗い可能

セーフティベルト
お子さまが誤って本体から転落したり、乗り出してケガをすることを防止できます。

脚
脚をたためばコンパクトな薄型収納

ベース
壁や家具などに触れても傷を付けにくいソフトなプロテクター付

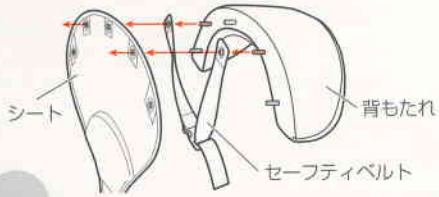
サイレントキャスター
フローリングの上でも音が静かで振動も少ないお子さまにやさしい設計

※毛足が長いジュータンなどの上では、移動がしにくい場合があります。

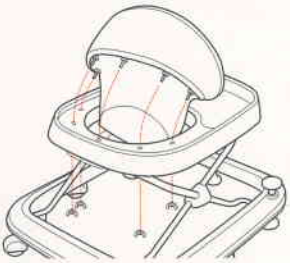
組み立てかた

シートの取り付けかた

1 セーフティベルトを図のように背もたれの底にあるボルトに通し、そこにシートを取り付けます。



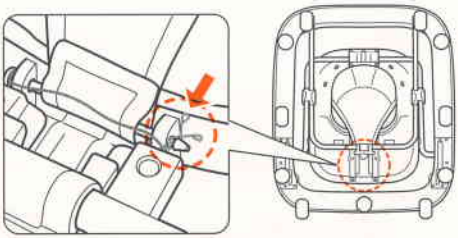
2 図のようにシートに通したボルトを本体ガードの穴に合わせて取り付け、蝶ナットを4ヵ所ともしっかり締めます。



⚠注意

蝶ナットは最後までしっかりとまわしてゆるみのないように取り付けてください。

3 ①シートの下端に付属のシャフト（金属棒）を通し、②クリップを反対側の先端にとめます。（必ず確実にとまっていることを確認してください）



⚠注意

シートは必ずシャフトを通し、クリップで固定してください。ひもを通して固定したり、クリップの固定が不十分だとシートがはずれ、お子さまがケガをするおそれがあります。

トイトレーの取り付けかた

1 トイトレーの裏側の電池フタをコインなどではずし、単3電池2本を入れ電池フタをはめます。

※付属の電池は動作確認用ですので寿命が短い場合があります。

2 トイトレーを本体テーブルにしっかりはめます。

各部の操作

トイトレー

⚠注意 トイトレーの取り付け・取りはずしは、お子さまを乗せたままで行わないでください。

●トイトレーの遊びかた

カリカリハンドル
回すとカリカリ音がします。

カリカリホイール
回すとカリカリ音がします。

ガラガラでんわ
ふるとガラガラ音がします。

メロディボタン
動物の鳴き声やメロディが流れます。
（犬、猫、アヒル、牛、カッコー、ニワトリ、車、汽車、クラクション、メロディ12曲）

ピコピコふえ
押すと音が出ます。

クルクルドラム
回転させるとイラストが変わります。

⚠注意

トイトレーなどにジュースなどをこぼさないようにしてください。内部に入ると作動不良になる場合があります。

⚠注意

電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れのおそれがあります。下記にご注意ください。

- 電池の取り扱いについては、電池の説明書をよくお読みください。
- 充電式電池（ニカド電池）は絶対に使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
- ＋－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
- ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。
- 長期間に使用しない場合は、電池をはずしてください。

セーフティベルト

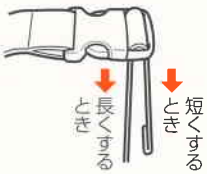
お子さまが誤って本体から転落したり、乗り出してケガをすることを防止できます。

⚠警告

使用時は、必ずセーフティベルトをしてください。また、使用しないときは、セーフティベルトのバックルを必ずはずしておいてください。ベルトが首に巻き付き、窒息する恐れがあります。

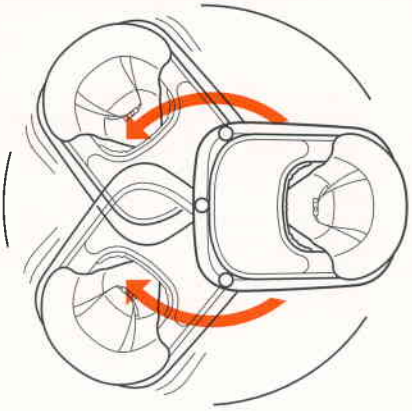
●セーフティベルト調整のしかた

セーフティベルトの長さは、お子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。
ベルトの長さを調節するときは、図のようにベルトを引っぱります。



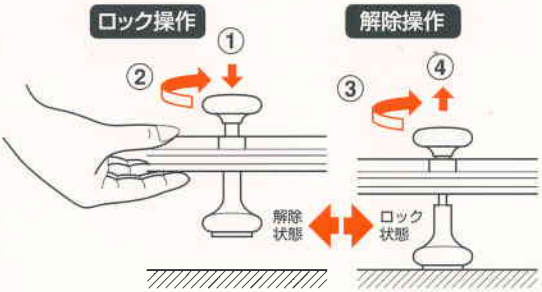
エリアロック機能

移動可能な範囲をストッパーを中心とした360°の回転範囲に制限できます。（床面の状態によってはストッパーが多少移動する場合があります）



> **⚠警告**
>
> エリアロック機能を使う場合でも、使用中はお子さまを1人にせず必ず保護者が付き添ってください。

ベースの前の部分を少し持ち上げた状態で、ストッパーを①押しながら②右に回転させロック状態（下がった状態）にします。
※解除する場合はさらに③右へ回転させストッパーをあがった状態④にします。

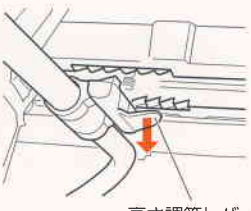


6段階高さ調整

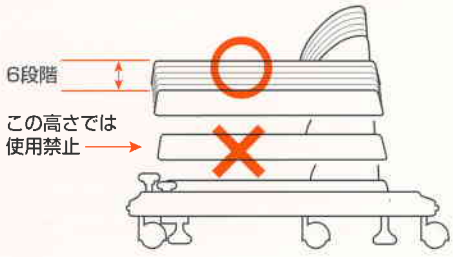
お子さまの成長に合わせて高さが調節できます。（かかとが軽く床につく程度が目安です）

> **⚠警告**
>
> • お子さまを乗せたままで各部の操作や調節は絶対に行わないでください。
> • 6段階の高さ調節範囲以外では使用しないでください。

1 **本体テーブルの裏側にある高さ調節レバーを下に引きながら、本体ガードを上下させて高さを調節してください。**



2 **確実にロックされていることを確認の上、お子さまを乗せて高さが適当かどうか確かめてください。**

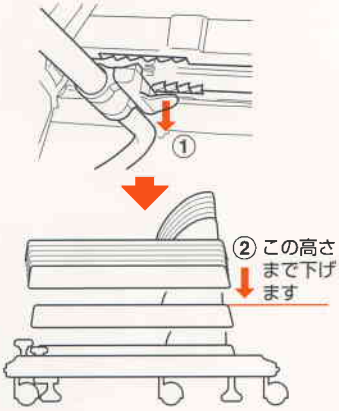


収納ポジションロック

収納状態まで折りたたむ際の安全機能です。

⚠注意
- ベースとガードおよび脚の間に指をはさまないよう注意してください。
- 操作はお子さまがそばにいない状態で行ってください。

1 ①本体テーブルの裏面にある高さ調節レバーを下に引きながら
②本体ガードを調節範囲よりさらに低い位置まで下げます。



2 ①左右の収納ポジションロックを同時に押し込むと、本体ガードが収納状態まで下がります。
②本体ガードが下がりにくい場合は、指をはさまないように注意しながら、本体ガードを押し下げてください。

お手入れのしかた

●シートの取りはずしかた

1 シートの下端のシャフト（金属棒）からクリップをはずします。

2 シートをとめているガード裏側の蝶ナット4カ所を外し、シートをガードからはずします。

表示にしたがって洗濯をしてください		
	手洗イ 30 弱い手洗い	漂白剤は使わないでください
ドライクリーニングはしないでください	アイロン掛けはしないでください	平 日陰で平干してください

⚠警告
取りはずした部品はお子さまの手の届かない所に保管してください。
お子さまが誤って飲み込むなどの事故のおそれがあります。

●本体の清掃について

車輪やプラスチック部品、金属部品の汚れは、水を含ませたよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませたよくしぼった布でふき取り、洗剤分が残らないようにします。

⚠注意
車体の清掃には、中性洗剤以外は使用しないでください。
部品の変質、劣化の原因となります。